

月刊 まつなみ

平成20年
February
2月号
No.100



写真：医事課 加藤 康昭

見直そう やったつもりと
みたつもり

たきび

かきねの かきねの まがりかど
たきびだ たきびだ おちばたき
「あたりうか」 「あたりうか」
きたかぜびいふう ふいている

さざんか さざんか さいたみち
たきびだ たきびだ おちばたき
「あたりうか」 「あたりうか」
しもやけ おててが もうかゆい

こがらし こがらし さむいみち
たきびだ たきびだ おちばたき
「あたりうか」 「あたりうか」
そうだん しながら あるいてく

医療法人 藤西厚生会

理念

私たちは、地域住民の皆様へ、安全で質の高い医療・福祉を効率的かつ継続的に提供する

基本方針

私たちは、地域中核病院を有する法人として、医療環境の変化に対応したサービスの提供を通じて、保健・医療・福祉と地域社会と共に発展をめざします

私たちは、患者様や利用者の方の権利を尊重し、プライバシーを守り、医療・福祉サービスを提供するよう努めます

私たちは、経営の安定と組織の活性化を図ることを目指すと同時に、職員の働きが安定し、生活が向上するよう努力します

目次

- 糖尿病看護認定看護師の活動
- ごあいさつ
2月のお知らせ
- 外来基本診療体制

松波総合病院ホームページ

<http://www.matsunami-hsp.or.jp/>



糖尿病看護認定看護師の活動

(社)日本看護協会認定

糖尿病看護認定看護師 山田 吉子

糖尿病看護認定看護師の山田です。よろしくお願いいたします。

私は社団法人日本看護協会看護研修学校（東京・清瀬市）で、半年間の研修を受け、平成19年7月に糖尿病看護認定看護師の資格を取得しました。

私が糖尿病看護認定看護師を目指した理由は、平成12年に生活習慣病管理部に配属となり、糖尿病教育入院後の継続支援に取り組み始めたことにあります。糖尿病の治療は長期で一生続くことから、「継続する事はなかなか難しい」と言われる患者様と家族の方の療養生活のお役に立ちたいと思ったからです。

私の院内活動は、

生活習慣病管理部を拠点に部長を林副院長とし、その他、栄養科・薬剤部・リハビリテーション科・検査室・眼科・口腔外科の兼任スタッフとチームを組み、当院で加療する全糖尿病患者の管理、外来・入院系糖尿病教室の企画運営、糖尿病療養指導入院の企画運営、院外患者関連施設との接触、交渉、連携、患者会運営など、当院における糖尿病関連の業務をコ・メディカルスタッフのチームリーダーとして、総スタッフ約30名と行なっています。

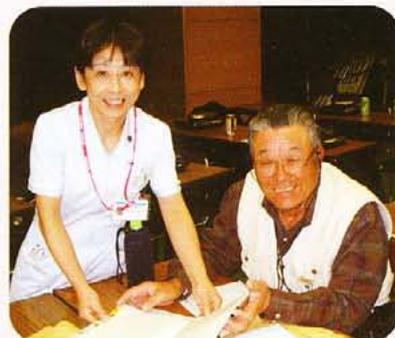
病棟看護師とは、

入院糖尿病患者様のケアを双方から行い、外来受診になってからは、診察時の会話や待ち時間を利用し悩み事などにアドバイスを行い、院内を横断して入院から外来を通じた継続看護に取り組んでいます。在宅療養においては患者様とその家族が安心して生活を送っていただけるように訪問看護師とも連携しています。

院外活動としては、

糖尿病地域連携パス活用のスムーズ化に取り組んでおります。また、連携先のコ・メディカルスタッフと「合同セミナー」を開催しご紹介いただいた患者様のその後の様子や支援方法などの意見交換を行っています。

糖尿病をもつ患者様が、その人らしく持てる力を発揮し、生き生きとした人生を送るためには、ご自身にあった自己管理方法を選択し、生活の中に取り入れて行く事が大切であると思います。そのため、私は患者様と触れ合う機会を大切にしながら患者様と共に考え、専門的な技術を用いて療養生活のアドバイスをさせて頂く事が、糖尿病看護認定看護師の役割であると考えています。何かお困りの事がありましたら、どうぞ気軽に声をかけてくださいね。



糖尿病療養指導
2週間コース受講者の会にて



ごあいさつ



外科 福田 恵子

皆さんこんにちは。私は平成17年に福井大学を卒業し、名古屋市立大学病院で2年間の臨床研修終了後、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺内分泌外科、小児外科で研修を行い、今年1月から外科に着任いたしました。

外科というと痛いところ、悪いところを豪快に切って、つないで、というイメージがありますが、最近は患者さんにより負担をかけないような手術が数多く行われるようになってきています。

消化器外科の分野でも腹腔鏡手術に代表されるような小さな傷跡で早く日常生活に復帰することを目指す手術が増えてきていて、日々技術の向上に努めなくてはなりません。

外科は、実はとても繊細な分野なんだと思っています。患者さんの体にメスを入れる、ということは大きな責任を負うことになり、元気になって退院される姿を見るとそれだけでもとても嬉しく、こちらもまた元気を頂くとといった感じで、私はそこに外科の魅力を感じています。

さて、私の今の状況はというと、新しい環境の中でまた気持ちも新たにして診療にあたっていますが、大学病院との違いを日々実感しております。慣れない事も多く、みなさんに助けられている部分がまだまだ多いのですが、患者さんをはじめみなさんから早く信頼されるよう努力して参りますのでよろしく願いいたします。

2月 お知らせ

■糖尿病教室 ※糖尿病が気になる方はどなたでも気軽にご参加下さい。

◎毎週水、金曜日、5階病棟ディールームにて 午後1時～2時

尚、都合により日時等変更する場合もございますのでご了承ください。



交通のご案内

新幹線羽島駅 — 西笠松 — 松波総合病院
タクシー 20分

名鉄岐阜駅 — 西笠松 — 松波総合病院
タクシー 15分

名鉄名古屋駅 — 笠松 — 松波総合病院